

リオパラリンピック選手が区長を表敬訪問

23日、9月7日～18日まで、リオデジャネイロで行われるパラリンピック陸上に出場する大西瞳さんが田中区長を表敬訪問しました。大西さんは、杉並区在住。今年6月の選考会で、アジア記録を更新するなど、リオデジャネイロ競技会での活躍が期待されています。

2000年、杉並区在住の大西瞳さんは、疾病のため右大腿部を切断し、義足での生活となりました。競技との出会いは、義肢装具士の「走れるようになると綺麗に歩けるようになるよ」の一言がきっかけです。そして、陸上競技を始めたことによって、これまで隠してきた義足のことも、いつしか気にならなくなりました。走ることで、障害を乗り越えることができたと話します。

そんな大西さんが、大きな目標にしていたのがリオデジャネイロのパラリンピックです。4年前のロンドンでは、現地で自分の目を見た感動が忘れられないと言います。会場を埋め尽くす観客の多さ、そして観客がルールのことや選手の情報までを知っていること。街中のポスターやテレビでは、パラリンピック専門チャンネルがあるなど、こうした観客の前で、自分もできる限りの挑戦をしたいと考えました。

今年6月、IPC公認2016ジャパンパラ陸上競技大会T4 2クラス(片大腿切断など)では、100mに出場し16秒90の記録でアジア新記録を樹立しました。また、翌日の同クラスの走り幅跳びでは、3m52の記録で自ら持つ日本記録を更新し、2種目で見事にパラリンピック出場権を得ました。

23日午後2時30分、大西さんが田中良杉並区長を表敬訪問しました。大西さんは、「2020年の東京オリパラに弾みをつけるためにも、精一杯がんばります」と笑顔で話していました。



[問い合わせ先]

教育委員会事務局スポーツ振興課 3312-2111 内線1671